

1章

放射線の基礎知識

放射性廃棄物という言葉
を耳にすると、まず、放射線
や放射能を思いうかべる方
が多いと思います。そして次
に、放射線や放射能は何か
恐ろしそうなので、自分か
らは遠ざけておきたい、と思
ってしまうのではないでしょ
うか。また、少し積極的に、

放射線や放射能について知ろうと本を開いてみても、分子や原子といったミクロの世界の話は感覚では理解しにくく、「やっぱり、放射線や放射能は難しいものだ」と思って本を閉じてしまうことが多いかもしれません。

放射線は、1896年、パリ理工科大学の教授だったベクレルが、ウラン化合物を写真乾板の上に置いていたところ、その部分だけが感光している、と気づいたことよって偶然に発見されました。また、1898年、キュリー夫人は、ウラン鉱物から放射線を放出する元素(ポロニウムとラジウム)を分離することに成功し、放射線の原因が小さな原子の中に潜んでいるという結論に達しました。

その後、多くの研究者によって、放射線や放射能の持ついろいろな性質が明らかにされています。1章では、放射線や放射能の基本的な性質について説明します。

